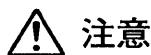
TOSHIBA 東芝照明器具取扱説明書

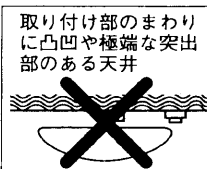
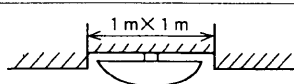
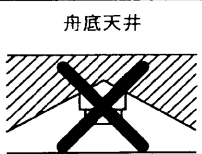
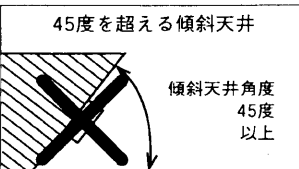
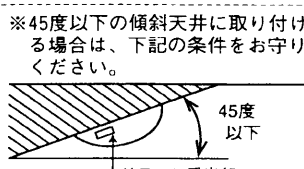
●お客様へ　お買い上げありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。
本書は必ず保管してください。

●工事店様へ　この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

⚠ 警告

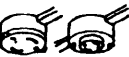
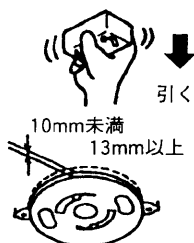
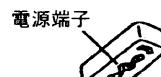
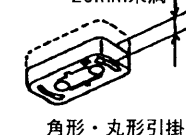
●次のような、場所には取り付けないでください。

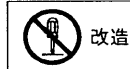
この器具は天井取付専用です。
指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。

※45度以下の傾斜天井に取り付ける場合は、下記の条件をお守りください。

●傾斜方向の下側にリモコン受光部側がくるように取り付けてください。
●引掛シーリングに器具の荷重が加わらないように本体を木ねじで必ず固定してください。

取付禁止

●次のような、配線器具には取り付けないでください。

火災・感電・落下してけがの原因となります。
次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。（※素人工事は法律で禁じられております。）

・ケースウエイに取付いているもの
・シーリングハンガー付きのもの
・配線器具が埋まり込んでいるもの

※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

●器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。

改造	火災・感電・落下してけがの原因となります。

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。

可燃物	火災の原因となります。

⚠ 注意

●屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。

湿気禁止	この器具は非防水です。 火災・感電の原因となります。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。

接触禁止	高温になっています。 やけどの原因となります。

●温度の高い場所では使用しないでください。

高温禁止	暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。 この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。

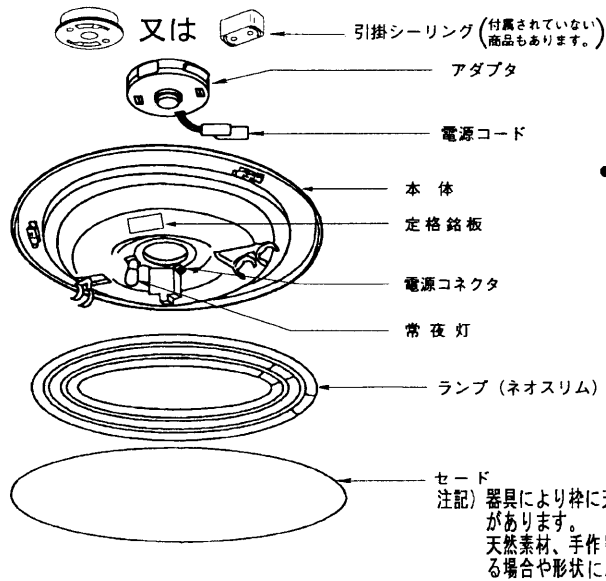
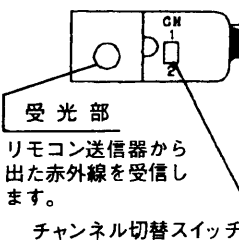
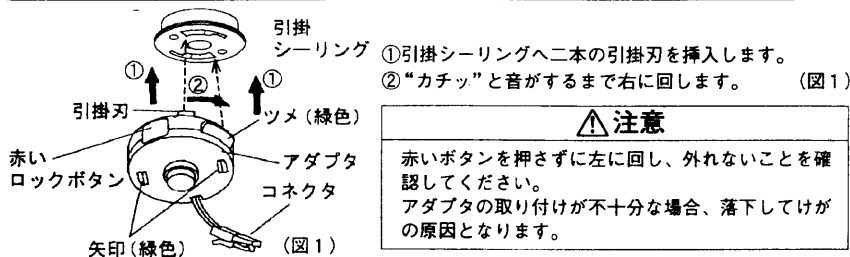
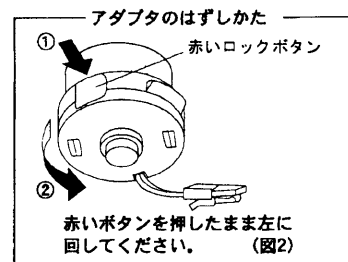
●交流１００Ｖ以外の電圧で使用しないでください。
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
●調光器が取り付けられている配線で使用しないでください。
火災の原因となります。
●天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。

●照明器具には寿命があります。設置して８～１０年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯。（ＪＩＳ C8105-1解説による。）
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

❗異常が生じた場合は、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）、東芝家電修理ご相談センター（保証書に記載）にご相談ください。

<生産完了 2007年10月01日>

■各部のなまえ

・この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

■器具の取り付けかた　（必ず壁スイッチのある部屋でご使用ください。）

2．本体を取り付けてください。

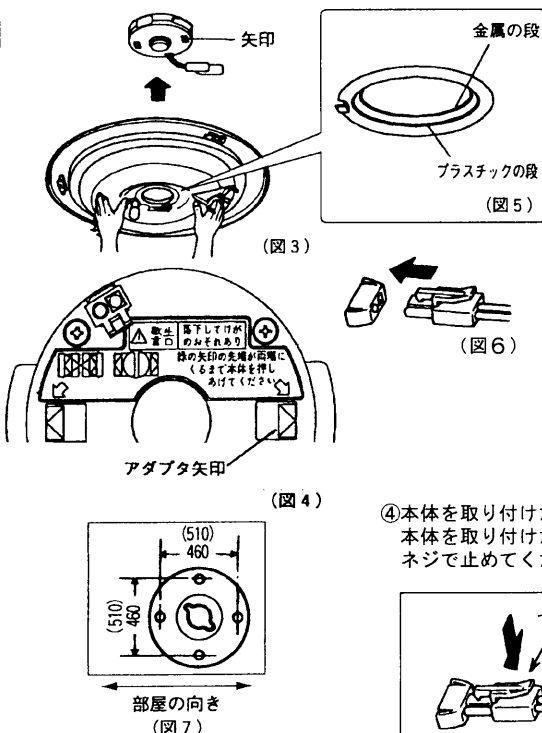
⚠警告　取り付けが不完全ですと、落下してけがの原因となります。

矢印

金属の段

プラスチックの段

（図５）

（図３）

注）器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
（天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。）

①本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて本体をまっすぐに押し上げます。　（図３）

②本体固定時、アダプタ矢印の先端が両端にくるまで押し上げて下さい。（図４）

JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングに適応できます。

埋込引掛シーリングの場合	角形・丸形引掛シーリングの場合
（高さ約11mm）	高さ約22mm　高さ約22mm　（高さ約22mm）
１段回押し上げてアダプタのツメを図５の金属の段に取り付けてください。（図５）	２段回押し上げてアダプタのツメを（図５）のプラスチックの段に取り付けてください。（図５）

（図６）

警告　落下してけがのおそれあり
線の矢印の先端が両端にくるまで本体を押しあげてください

アダプタ矢印

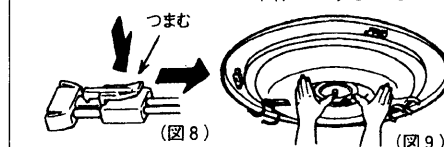
（図４）

③アダプタコードのコネクタを電源コネクタに差し込みます。
抜けないことを確認して下さい。（図６）

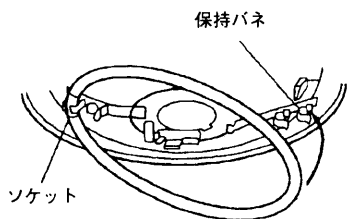
④本体を取り付けた際、図７のノックアウトを部屋の向きに合わせてください。
本体を取り付けた後、本体が安定しないときは図７のノックアウトを利用して木ネジで止めてください。

（図７）

※（　）内は114W用の場合

本体のはずしかた

アダプタコードのコネクタを電源コネクタからはずします。
コネクタをつまみながら引き抜いてください。（図８）
両手で本体を押しながら中央にある赤いボタンを押してください。（図９）

3 ランプを取り付けてください。

注）包装時に装着済み

（図10）

(1) 本体に径の大きいランプから順に取り付けます。（図10）

①ソケット、②保持バネの順でランプを本体に取り付けます。

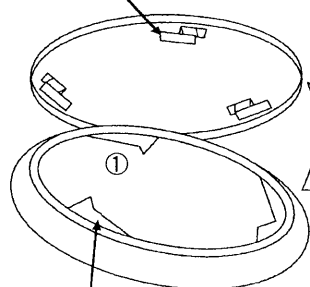
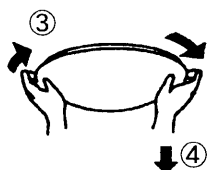
ランプのはずしかた

ランプ径の小さいランプから外してください。

⚠ 注意

ランプをソケットに確実に取り付けてください。
取り付けが不十分ですと、点灯しなかったり火災の原因となります。

4 セードを取り付けてください。

（図11）　（図12）

①セードの張出部分をセード取付金具とセード取付金具の間にセットしてください。　（図11）
②セードを持ち上げます　（図11）
③“カチッ”と音がするまで、セードを右に回してください。（図12）
④セードを軽く引っぱって外れないことを確認してください。（図12）

⚠ 警告

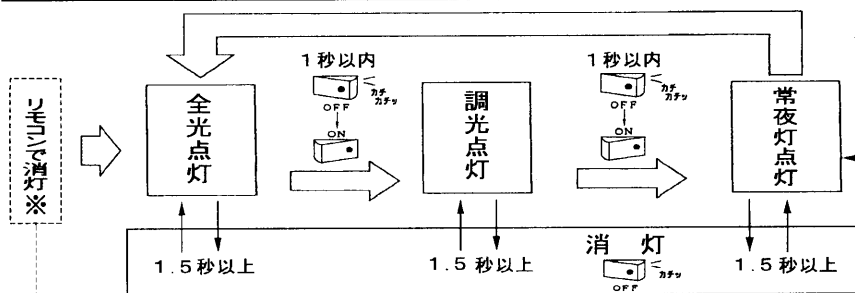
セードを本体に確実に取り付けてください。
全てのセード取付金具にセードが取り付いたことを確認してください。
取付が不十分ですと、落下してけがの原因となります。

セードのはずしかた

“カチッ”と音がするまで、セードを左に回してください。

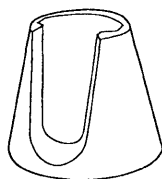
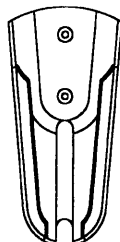
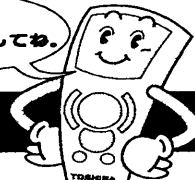
■器具の使いかた

壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

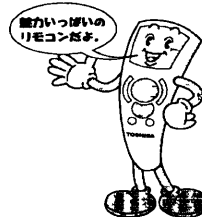
プルスイッチレス 機能・・・この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切り替えることができます。
器具本体内蔵のマイコンが、１秒以内の電源遮断を感知すると、次の点灯状態へ切り替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。

※壁スイッチをＯＦＦする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチを再びＯＮにすると常夜灯点灯になります。（ ►）

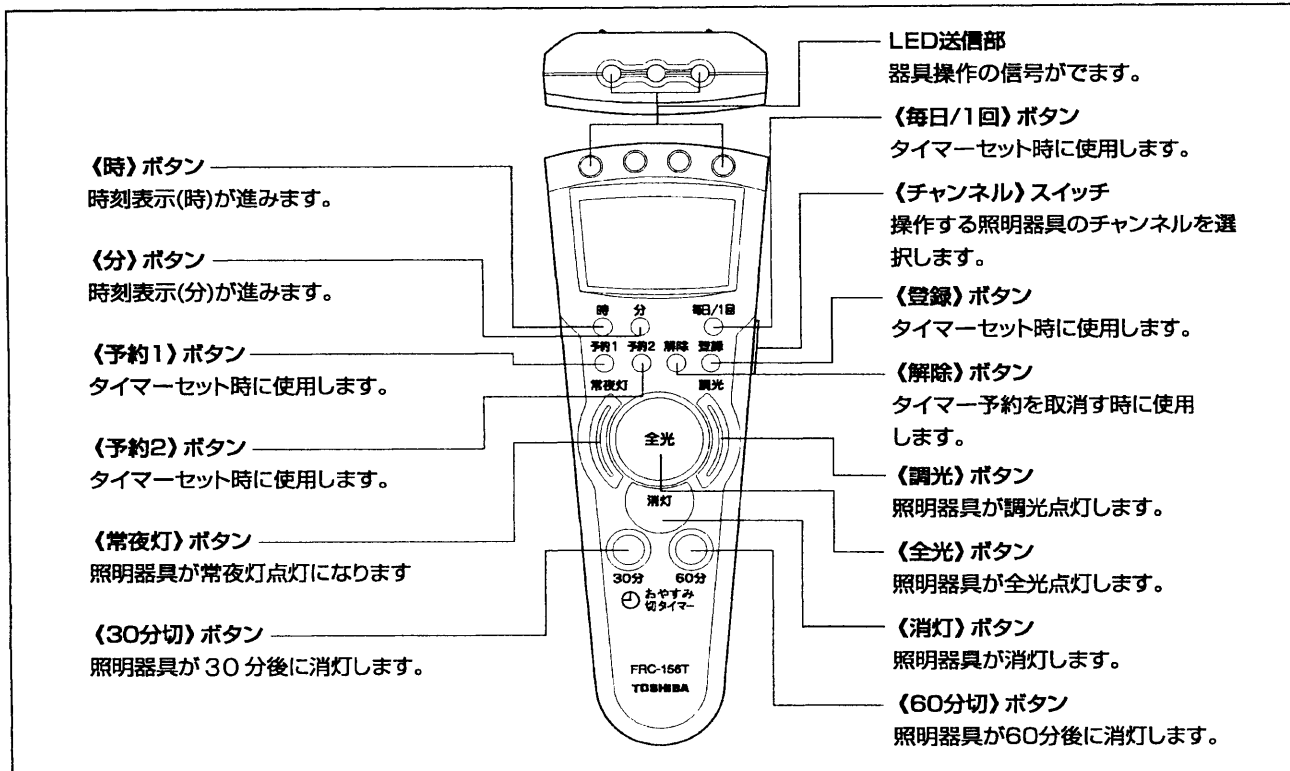
（ご注意）
１個の壁スイッチで２台以上の プルスイッチレス 機能搭載器具を操作することはお避けください。同時に切り替わらない場合があります。

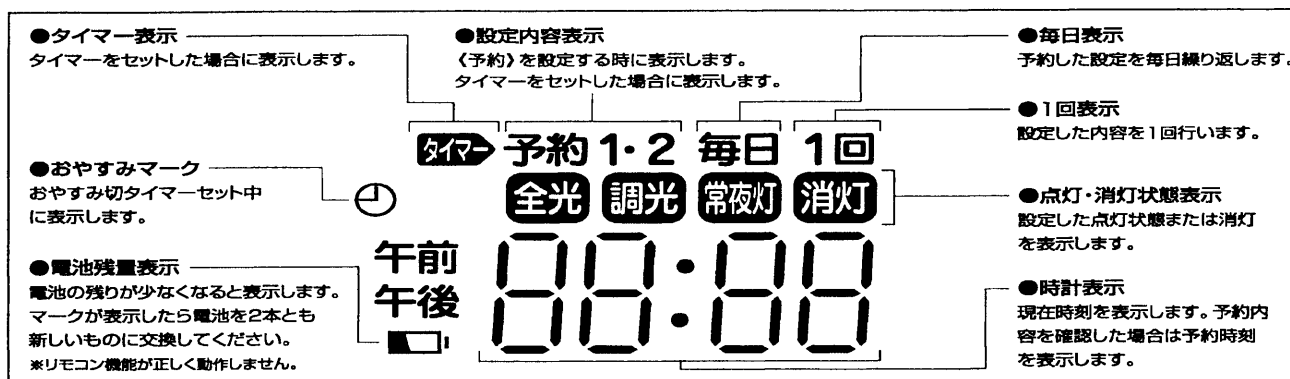
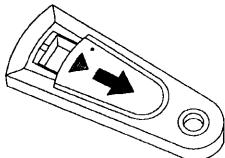
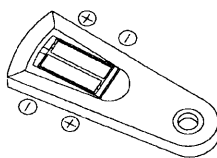
■ 付属品

＜生産完了 2007年10月01日＞
FVH98610R (3 / 8)

ON/OFFタイマー付リモコンの使い方

■商品の概要 ※弊社指定の照明器具専用です。

◎時計機能付きです。(時計の精度は月差±30秒以内です。)
◎全光、調光、常夜灯、消灯の切替えがリモコン送信器で行えます。
◎ON/OFFタイマー機能付きです。
設定した時間になると、照明器具に信号を送って設定した点灯状態または消灯状態にできます。
◎予約は2つまで設定できます。同じ設定を毎日繰り返すことができます。
◎おやすみ切タイマー付きです。
設定時間になると消灯します。30分、60分どちらか選べます。

■各部のなまえとはたらき

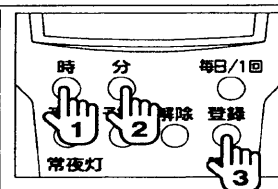
リモコン送信器　FRC－156T

■液晶表示パネルについて

※説明のため、全部を表示しています。実際にはこの表示にはなりません。

■リモコン送信器への乾電池の入れ方

ご注意

●乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
●長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

・リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回使用の場合約1年間がめやすです。

＜生産完了 2007年10月01日＞
FVH98610R (4／8)

■時計の合わせ方　注）時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に作動しません。

＜電池投入時＞

1.《時》ボタンで時刻を合わせます。
※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。
《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。

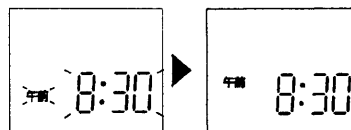
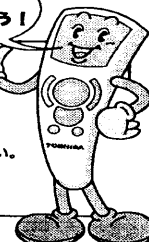
2.《分》ボタンで分を合わせます。
《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。

例）午前8:30に設定する場合
点滅から点灯になり完了。

＜時刻を変更するとき＞

1.《時》＋《登録》ボタンを同時に押します。
（時刻表示が点滅します）

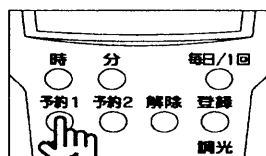
2.「電池投入時」の1～3と同じ手順で時刻を登録します。

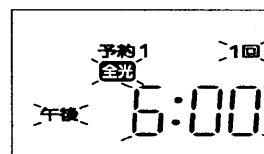
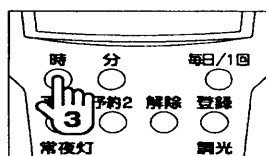
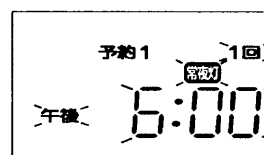
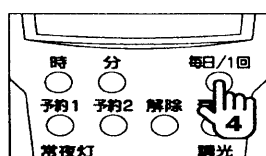
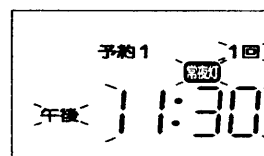
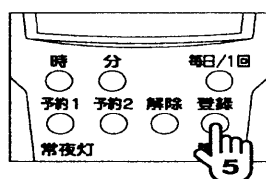
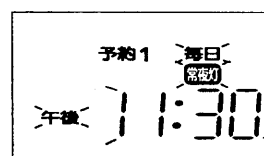
3.《登録》ボタンを押して決定します。
※ボタンを押し続けると1秒間隔で時刻を送ります。
※早押しすると早く時刻が送れます。

あかりを予約しよう！

ON/OFFタイマーの設定のしかた

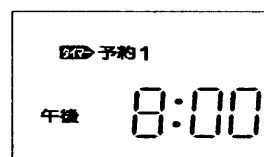
■タイマー予約をする

タイマー機能を使って照明器具を「全光点灯」、「調光点灯」、「常夜灯点灯」、「消灯」させることができます。「設定」はダイレクトに選択できます。

※時計を正しい時刻に設定しておいてください。
（時計の合わせ方参照）

例）「午後11:30に毎日常夜灯点灯する」を「予約1」に登録する場合

❶《予約1》ボタンを押す。
画面が点滅します。

※「予約1」または「予約2」にタイマー登録されている状態では、《予約1》《予約2》ボタンは確認のみです(点滅しません)。
「タイマー予約中の内容を変更する」を御参照の上設定ください。

❷《常夜灯》ボタンを押します。
点灯状態は、「全光」、「調光」、「常夜灯」、「消灯」の中から選べます。

❸《時》、《分》ボタンで時刻を決定します。
《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
《分》ボタンを押すごとに、10分単位で進みます。
※ボタンを押し続けると1秒間隔で時刻を送ります。
※早押しすると早く時刻が送れます。

❹《毎日/1回》ボタンを押します。
毎日もしくは1回を設定します。
《毎日/1回》ボタンを一度押すと、毎日に設定となります。《毎日/1回》ボタンを押すたびに、「毎日」と「1回」が切替ります。

❺《登録》ボタンを押します。
液晶画面に「タイマー」、「予約1」が表示され、現在の 時刻表示に戻り、登録完了です。

※②③④の操作はどの順番でも設定できます。

工場出荷時のメモリ状態

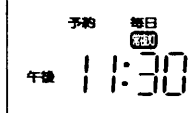
	点灯状態	設定時間	毎日/1回	タイマー
予約1	全光	午後6:00	1回	OFF
予約2	消灯	午後9:00	1回	OFF

工場出荷時のメモリを使用する場合は《登録》ボタンを押します。
※電池交換すると工場出荷時のメモリ状態に戻ります。

■タイマー予約の内容を確認する

タイマー予約中の内容を確認できます。

例）「予約1」の内容を確認する。

①《予約1》ボタンを1回押します。
現在のメモリ設定内容が表示されます。
《予約1》または《登録》ボタンを押すと、時刻表示に戻ります。また、5秒間何も押さないと時刻表示に戻ります。

■タイマー予約を解除する

タイマー予約中の内容を解除します。

例）タイマー予約中の「予約1」の内容を解除するとき。

①《予約1》ボタンを押します。
現在のメモリ内容が表示されます。

②《解除》ボタンを押します。
「タイマー」と「予約」の表示が消え時刻表示に戻ります。

《毎日/1回》ボタンで1回を選択した場合は、信号送信後に自動的に解除されます。

■タイマー予約の設定内容を変更する

タイマー予約の設定内容を変更する場合は一度設定内容を解除して、再度予約を行ってください。

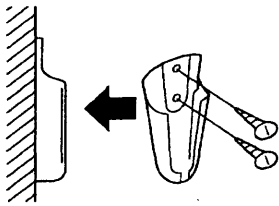
※一度解除しないと予約の設定内容は変更できません。

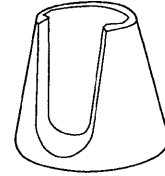
＜生産完了 2007年10月01日＞
FVH98610R(5／8)

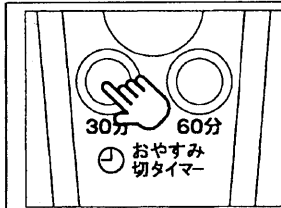
■リモコンホルダーのご使用方法

・リモコン送信器の紛失を防止するためリモコンホルダーが同梱されています。

＜壁掛けホルダー＞
壁面に取付けてご利用ください。
付属の木ネジでリモコンホルダーを確実に固定してください。

●壁掛けホルダーに入れてタイマーを使用する場合は器具に向けて壁掛けホルダーを取り付けてください。（木ネジで固定する前に、設置予定の場所に送信器をあわせ信号が届くか確認してください。）壁面と照明器具の距離は約1m～3mが目安となります。

ご注意
壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合はホルダーから送信器を外して器具に向けてください。
壁掛けホルダーにいれたままで、リモコンがききにくい場合は、その場所でのタイマー予約はおやめください。

＜卓上ホルダー＞
卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご使用ください。

■おやすみ切タイマーの使い方

おやすみ切タイマーは「30分」または「60分」後に自動消灯する便利な機能です。

※リモコン送信器のボタンを押して点灯状態の切り替え操作ができることを確認してください。

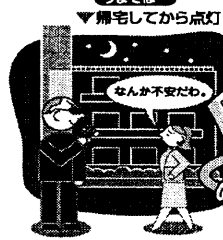
《30分》または《60分》ボタンを押します。
液晶画面におやすみマークが表示されます。
30分または60分後にリモコン送信器から信号を発信して照明器具を消灯します。

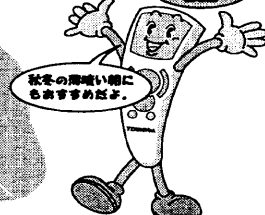
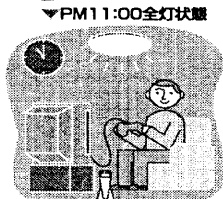
おやすみマーク

※時刻設定での作動により「おやすみ切タイマー」設定が優先されます。
※「おやすみ切タイマー」設定後に他のボタンが押されるとおやすみマークの表示が消えて解除されます。

ON/OFFタイマーだからできる、こんな使い方

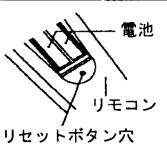
1 旅行などで数日留守にする時に。 ON/OFFタイマー設定

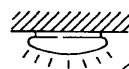
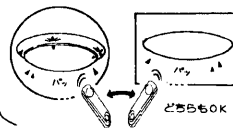
2 第三者に帰宅を知られたくない時に。 ONタイマー設定

*盗難などを確実に阻止する方法ではありません。発生した損害については責任をおいかねますのでご了承ください。

3 毎日の朝のお目覚めに合わせて。 ONタイマー設定

4 ついつい夜更かししてしまう時に。 ON/OFFタイマー設定

●故障かな?と思ったら。

現　象	考えられる原因	処　置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	照明器具とリモコン送信器のチャンネルがあっていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	蛍光ランプが切れている。	蛍光ランプを交換してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池のふたを開けて先の細いものでリセットボタンを押してください。
予約時間になっても動作しない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れください。
	時刻があってない。	時刻をあわせてください。
	照明器具に信号がとどいていない。	卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に 置いてください。

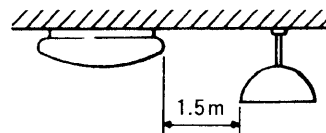
電池
リモコン
リセットボタン穴

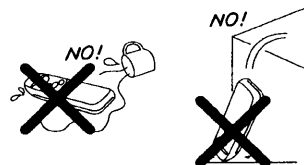
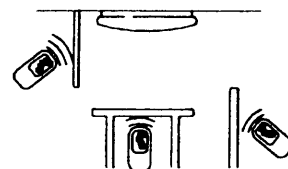
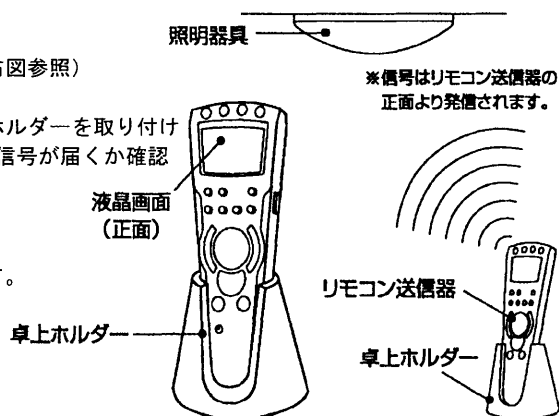
＜生産完了 2007年10月01日＞
FVH98610R (6 / 8)

リモコン送信器による照明器具の点滅操作

- リモコン送信器を照明器具に向けて、お好みのボタンを軽く押してください。照明器具内のブザーが“ピッ”となってお好みの点灯状態に切り替えられます。（図１）
- ２台の照明器具の操作が１つのリモコン送信器により行えます。それぞれの照明器具側のチャンネルをチャンネル１・チャンネル２と個別に設定した場合、リモコン送信器のチャンネルと同じチャンネルの照明器具のみが動作します。（図２）

（図１）　（図２）

リモコン使用上のご注意

- 付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコンは壁スイッチがＯＮのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて下記電力を消費します。
  76Wﾀｲﾌﾟ・86Wﾀｲﾌﾟ：約1W　　114Wﾀｲﾌﾟ：約1W
  長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用はインバーター器具から1.5m以上離して取り付けてください。

1.5ｍ

- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。

NO!　NO!

- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信器が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。

- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
  又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると、リモコンが正常に作動しないことがあります。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切り替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切り替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際プルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。
- 壁スイッチは必ずONにしてください。
- リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。
  付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコン操作ができることを確認してください。
- 卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面など不安定な場所に置いて使用しないでください。
  ※転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。
- 天井の高さにより受信範囲が異なります。２．４ｍを超える天井高さでは効きにくい場合があります。２．４ｍを超える場合は床置きではなく、テーブルなどの家具に置いて使用してください。
- 卓上ホルダーに置いた場合は器具真下から約３ｍが受信範囲になります。
- 卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。（右図参照）
- 卓上ホルダーをご使用にならない場合は正常に動作しない場合があります。
- 壁掛けホルダーに入れてタイマーを使用する場合は器具に向けて壁掛けホルダーを取り付けてください。（木ネジで固定する前に、設置予定の場所に送信器をあわせ信号が届くか確認してください。）壁面と照明器具の距離は１ｍ～３ｍが目安となります。
- 直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。
- ストーブやファンヒーターの吹き出し口近くには置かないでください。
- 広い部屋でご使用する場合、リモコンで切り替えにくい場合があります。
  その際は器具に近づいてご使用ください。

■ランプ寿命について

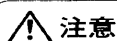
●一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し、常夜灯が点灯します。
残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかに、すべてのランプを交換してください。

■故障ではありません

●冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
●ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
●器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
●器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
●電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願いいたします。

■お手入れのしかた

・常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

●器具の汚れ(ホコリや虫など)は、やわらかい布を中性洗剤に浸しよくしぼったものでふきとってください。
(ご注意) ■ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、変質、破損の原因となります。
■器具により天然素材の和紙を使用している製品があります。シワ・タルミがある場合はそのままご使用ください。

⚠注意 ●ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。
感電の原因となります。

■ランプの交換

●ランプの端部が黒ずんだり、暗くなりましたら早めに交換してください。ランプ交換の際は東芝蛍光ランプ・ネオスリムをご指定ください。

■仕　様

器　具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	適　合　ラ　ン　プ
76W形	AC100V	50/60Hz共用	69W	約1W	FHC20　FHC34　常夜灯100V5W
86W形	AC100V	50/60Hz共用	79W	約1W	FHC27　FHC34　常夜灯100V5W
114W形	AC100V	50/60Hz共用	95W	約1W	FHC20　FHC27　FHC34　常夜灯100V5W

器具形名	
本体形名	

■お客様メモ

購入年月日　　年　　月　　日

東芝ホームライティング株式会社　〒101-0021　東京都千代田区外神田一丁目8番13号(東芝秋葉原ビル1階)

<生産完了 2007年10月01日>
FVH98610R(8/8)